

# 主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

第6学年  
国語科

やまなし  
イーハトーヴの夢

宮沢賢治から受け取った  
生き方のカギ

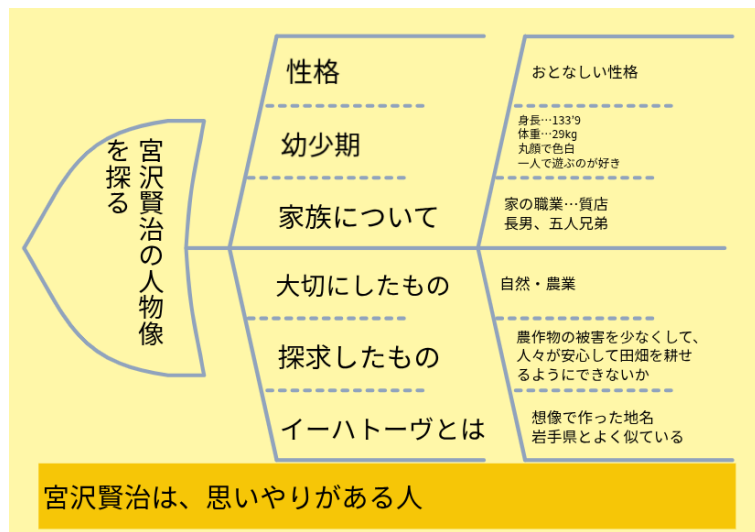


# ポイント1 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

## 共通の課題設定

国語科：宮沢賢治が作品を通して伝えたかったことは？

総合：宮沢賢治の作品から生きた方のカギを受け取る。



シンキングツールで情報整理



読書コーナーの設置

## ポイント2

# 対話や気付きの質を高める工夫

クラスの  
総カウント

### 共有の振り返りシート

44206

自分が選んだ作品の考察

これまでの学習を振り返って、改めて宮沢賢治はどんな人物だと思いますか？

0

3003

私は「双子の星」というお話を読みました。双子の星はやまなしと少し違い、もっとより良い世の中へという気持ちを含めた話になっていました。私が思ったのは、クジラをどうしてもっと賢くして狙われなかったのかという問いを持ちました。そしてたくさん考えを出していると、双子の星だからではなく、宮沢賢治自身の気持ちとその場面に目立っていたのかなと思いました。宮沢賢治はとても優しい人で、双子の星でも、武力を使わず王は言葉で説明し反省をさせていました。双子の星でも、サソリと大蛇が戦っているところで、お互い強い傷を負って、互いに決着をつけるなんて、いけないなと思いました。双子の星は暴力をまらでいけない、だめなど否定するような話になっていたのでも、宮沢賢治は暴力がない、より良い世の中を願ってこの話を書いたのかなと思いました。やまなし、双子の星を読んで、宮沢賢治はいろいろな視点から観察し、すべての本の題が通う本を次山作っていたまるで天才だったんだなと思いました。その他にも間を持ちました。これはすべてのお話に関係していると思いますが、どうして宮沢賢治は「絶対」という言葉を昨秋で使わないのかという問いです。私なりに考えた理由は、宮沢賢治は戦争を現状とみて書いている話でいっばいなので、絶対という言葉を使わないのかなと思います。私は戦争の経験を持っている人の中で多くの人が大切な人へ絶対に帰ってきてねと口出している人が多かったと考えました。そしてその言葉通りに戦争から帰ってきたという人もいればそのまま殺されて帰ってこなかったという人もいるという考えで絶対ではなくさっさとという言葉を使っていたのかなと思います。そしてその絶対という言葉を使わない理由としても宮沢賢治は読者に深く伝えたい気持ちもあったのかなと思います。どの作品にも宮沢賢治への気持ち

800

宮沢賢治はとても優しい人物だったんだなと思いました。昔に妹などをなくし、その出来事をもとに話をつくっているということがわかりました。宮沢賢治さんは人生の中で大切なこと、当たり前のように今の社会ではできていないことなどをお話で深く表現していました。私は山梨以外にも、「双子の星」というお話を読みました。双子の星を読んで様々なことが人に関わっている場面がありました。そして私はわやまなし含め、2冊を深堀りしましたが、他の人は、注文の多い料理店、グスコーブドリの伝記など他にもいろいろなお話があって、どれも宮沢賢治の思いが伝わってきました。宮沢賢治は今までの世の中でたくさんの人の心を救ってきた人物だ

314

個人の  
総カウント

授業1回の  
カウント

## ポイント3

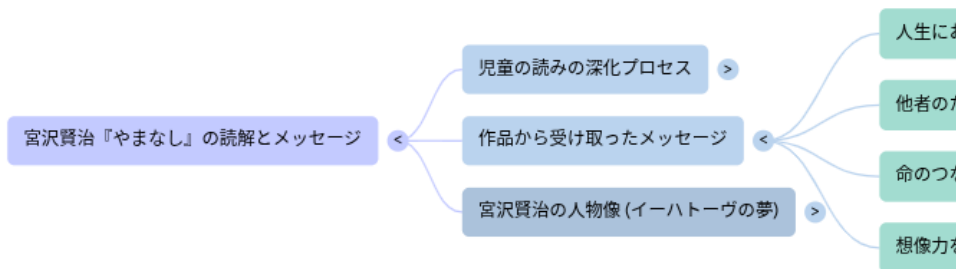
## 次の学びに生かす振り返り

### 生成AIの活用へのチャレンジ「NotebookLM」

- ・時短（授業内でのフィードバックも可能）
- ・ハルシネーションが少ない
- ・生成できるコンテンツが多い
- ・少数派が拾われにくい
- ・教師の意図がないと適当なものが生成される  
⇒明確なゴールイメージがないと危険



大切なこと：教材分析⇒ゴールの明確化・プロンプトでAIをコントロール



物語 (Story)	このカギで開く扉 (Door This Key Unlocks)
『祭の晩』	差別をせず、困っている人を助ける
『双子の星』	争いをやめ、すべてを平等に接する
『グスコブドリの伝記』	人も自然も、すべてのものを大切にする